

平成24年
8月15日号

子どもと未来の柏のために

放射線対策 NEWS NO.015

掲載情報は個別に記載したものを除き8月6日現在のものです。

持ち込みによる食品・井戸水等の放射性物質検査の予約について

6月下旬から測定機器を2台増設した結果、検査までに時間が掛かっていた状態が解消されました。自家消費を目的に家庭菜園で栽培した野菜や、自宅の庭で採取した果樹などの検査を希望するかたは、現在、待つことなく予約・測定できますのでご利用ください。

増設機器を使った測定は、原則として、測定と検査結果の交付を予約した時間内で行います。このため、皮むきやみじん切りなどの事前準備にご協力をお願いします。

◎予約方法など、詳しくは問い合わせを

☎食品測定専用受付 ☎7163-5922・5923

空間放射線量測定器を最長3日間まで貸し出しています

空間放射線量測定器の利用には、事前の予約が必要です。施設ごとに予約状況が異なりますので、貸し出しを希望する施設へ直接ご連絡ください。

注意事項／測定場所は市内に限ります▶次に借りるかたがいますので、返却時間は厳守してください▶測定者以外のかたが管理する土地や施設内で測定をする場合は、必ず事前に所有者の承諾を得てください▶気温が30度以上での長時間の測定は誤差が大きくなる場合があります。測定時以外は涼しい場所で保管してください

☎放射線量測定コールセンター ☎7168-1037

除染支援パンフレットを配布中

市民の皆さんが個人で行うことができる除染の方法等をまとめた小冊子「子どもと未来のために～私たちの手で行う放射線量の低減～」を配布しています。ぜひご利用ください。

配布場所／放射線対策室(市役所本庁舎4階)、沼南支所総務課(沼南庁舎1階)、各近隣センター(北部、柏ビレジ、根戸を除く)※市のホームページからダウンロード可

☎放射線対策室 ☎7168-1036

放射性物質の検査結果

■市内の農産物 ☎農政課 ☎7167-1143

[北部]ナス、ミョウガ[中央]梨(幸水)[南部]梨(幸水)、葉ショウガ、枝豆、キュウリ、ブルーベリー[手賀沼周辺]トウモロコシ、梨(幸水)、カボチャ、フクミミトウガラシ、ゴボウ、シロウリ、オクラ、ナス、ミョウガ、トマト、枝豆、ゴーヤ、インゲン豆、キンショウメロン、ショウガ、モロヘイヤ、ツルムラサキ	検出下限値未満 (☎セ134: 5.88 ~ 11.61、 ☎セ137: 5.33 ~ 10.63)
---	--

(7月19日～8月6日検査分)

■保育園(提供した給食1食分) ☎保育課 ☎7167-1137

公立・私立合計9園の提供食	検出下限値未満 (☎セ134: 0.51 ~ 0.72、 ☎セ137: 0.55 ~ 0.72)
---------------	--

(7月24日～30日検査分)

■表記の説明

☎=NaI (TI)シンチレーションスペクトロメータによる検査

☎=ゲルマニウム半導体検出器による検査

☎セ=放射性セシウム。

数値は各下限値。単位はベクレル/キログラム

検出下限値=使用する検査機器で検出できる最小値のこと

※検査機器が異なるため、下限値の設定が異なります。NaI (TI)シンチレーションスペクトロメータ検査で、数値が検出された場合、より精密な測定が可能な「ゲルマニウム半導体検出器」で再測定を行います

品目・学校名・検査方法などの詳しい内容は、市のホームページに掲載しています。私立幼稚園の検査結果も見ることができます

放射線に関する健康相談を行っています

お子さんを持つお父さん、お母さんの放射線による健康への心配を軽減するため、母子保健事業などにおいて、放射線による健康への影響に関する相談を行っています。今回は、この健康相談について、7月25日に行われたポリオの予防接種会場での相談の様子を交えてお知らせします。

☎保健所総務企画課 ☎7167-1255・放射線対策室 ☎7168-1036

●健康相談のこれまでの状況

予防接種・健診等の会場で行ってきた健康相談は、昨年12月から計45回行い、延べ473件の相談を受けています(7月末現在)。内容は、「子どもに外遊びをさせていいですか」「水道水や流通している食品は食べても大丈夫ですか」など、幅広く寄せられています。皆さんから多く寄せられている質問と回答は、市のホームページに掲載しています。

●健康相談窓口

☎7167-1255 (保健所総務企画課内)

市では、予防接種や健診会場以外でも、電話での相談を受け付けています。放射線が体に与える影響等について心配なことがあれば、気軽に相談してください。

また、市以外にも専門の相談機関がありますので、ご利用ください。

■市以外の相談窓口

窓口	とき	電話番号
健康相談ホットライン(文部科学省)	月～金曜日の午前9時～午後6時	☎0120-755-199
放射線被ばくの健康相談窓口(放射線医学総合研究所)	月・水・金曜日の午後1時～午後4時	☎043-290-4003

(いずれも祝日を除く。健康相談ホットラインは8月15日は休止)



会場での相談風景

●相談を利用したかたの声

(7月25日にポリオ予防接種の会場で取材)

ポリオ接種後にブースが設置されていたので、初めて利用しました。内部被ばくが心配だったので、市内農産物の状況や日常生活で気を付けることなどを聞くことができました。(母親)

あまり気にしていませんでしたが、放射線の知識や市の取り組みを聞いたことで、あらためて安心を実感できました。(両親)

市で取り組んでいる対策は理解できましたが、もっと積極的に除染や健康調査など進めてほしいです。(両親)



放射線に対する理解を深める一助となることを目的に、放射線に関する基本的な情報を皆さんにお知らせします。

☎放射線対策室 ☎7168-1036

第14回 放射線のモニタリング

今回の原子力災害により、メディアでよく耳にするようになった言葉の一つに、「モニタリングポスト」があります。モニタリングポスト設置の主な目的は、原子力発電所や放射線を取り扱う研究施設・病院などから、計画外に放射性物質や放射線が周辺環境へ放出されていないか、計画通りに操業しているかを監視することです。同様の目的で用いられるものとして、「モニタリングステーション」や「モニタリングカー」もあります。

ここでの「モニタリング」とは、環境中の放射線量等を継続的に監視することを意味します。施設周辺の海底土、土壌、農産物、水産物などについても継続的な検査は行われており、その測定結果は、事業者や自治体のホームページなどで公開されています。

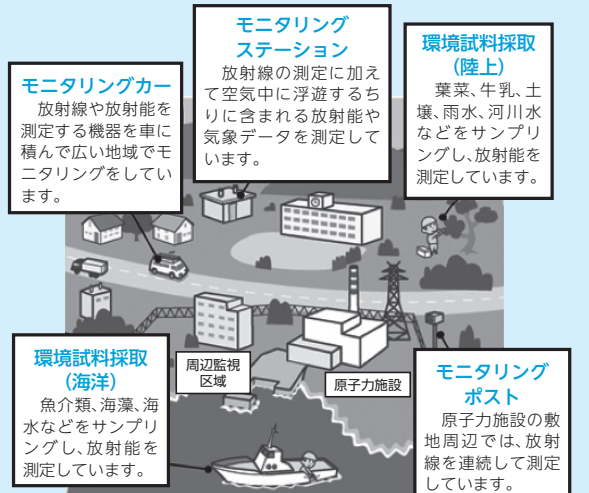
柏市内にもモニタリングポストが新たに設置されました(平成24年3月)。この設置目的は、事故後の環境放射線の状況を一定の場所で、継続的に監視し、公表することにあります。地表から1メートルの高さで、1時間ごとの連続的な空間線量率(マイクロシーベルト/時)測定が行われ、結果は千葉県ホームページで確認することができます。この測定値は、柏市の概況を示す代表値の一つと理解できます。

モニタリングポストの数値を確認するときは、その数値そのものだけでなく、その変化の様子にも注目していただきたいと思います。ゆるやかに、だんだんと減少している、または横ばいの傾向であれば、新たな放射性物質は降下してきていない、と考えることができます。降雨の直後などは、一時的に数値がはね上がることがあります。これは、空気中に浮いている「自然の」放射性物質(ラドンやトリウムの仲間)が、雨と共に降下することが主な原因です。

次回は・・・最終回 「これからの生活」の予定です

(東京大学環境安全本部・飯本武志准教授監修)

原子力施設周辺の放射線モニタリング



出典：放射線副読本より